

《復権！現場力》

新しい文化的技術エキスパート！
新たなビジネスフィールドに挑戦してみませんか？



東京インプロGRESS・ワークショップ

アートコンストラクター講習会 (美術制作技術者)

| | | |
|------------------------|---------|----------------------------|
| 第1回 「アートコンストラクター入門」 | 講師：小山田徹 | 平成22年10月30日(土) 13:00-17:00 |
| 第2回 「アートコンストラクター実習①」 | 講師：杉山至 | 平成22年11月14日(日) 11:00-18:00 |
| 第3回 「アートコンストラクター実習②」 | 講師：杉山至 | 平成22年11月27日(土) 10:00-18:00 |

【モデレーター】日沼智之 【会場】第1,2回 | 南千住区民事務所東部ひろば館 / 第3回 | 都立汐入公園 【定員】20名~30名程度

【受講料】無料 (ただし保険料として500円ご負担願います。)

【対象】 美術制作の現場に関わってみたい人 自らも美術家志望の人 これから地域で作品を作ってみたい人 大工経験者
 様々な人と関わりを持って仕事をしたい人 美術制作経験者(ボランティアスタッフ等) ※ 年齢、男女性別は不問。地元の方も、地方からの受講生も歓迎。

TOKYO
IN
PROGRESS
東京インプロGRESS



“塔ってことないよ。2010”

一般社団法人CIAN × 東京アートポイント計画

【主催】東京都 / 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団) / 一般社団法人CIAN

【後援】荒川区 / 荒川区教育委員会

【お問い合わせ】一般社団法人CIAN / Mail: info-cian@interlocalization.net / Tel: 090-6149-0399 (事務局)

詳細はWebで: <http://www.interlocalization.net/tokyoinprogress/>

アートコンストラクター講習会 (美術制作技術者)

《復権！現場力》

「東京インプログレス」では《復権！現場力》と題して美術制作現場に関わる新しい技術職である「アートコンストラクター」の確立を目指し、現場運営に関わる技術を習得する講習会を開会いたします。

☉「アートコンストラクター」とは、

様々な美術制作において作家をサポートしていきける技術者。

土木・建設技術に加え、場の空気を読み臨機応変に動ける勤や現場力が求められます。世界の様々な地域で芸術祭が行われるようになった昨今、そのようなアートコンストラクターの需要はますます増えています。

本講習会では、さまざまな現場に従事してきたゲストを招聘し、レクチャー、トーク、ワークショップ、実習などを通じて制作現場における知の発展を目指します。

プログラム

第1回 | 「アートコンストラクター入門」

入門編として「アートコンストラクター」の可能性と意義に関するレクチャー、トークを実施します。

【レクチャー】小山田徹「共有空間の獲得」

【トーク】小山田徹／川俣正／日沼智之

第2回 | 「アートコンストラクター実習①」

現場構築において大切なスキルは「構想力」。レクチャー、ワークショップ、実習を通じて現場に必要なスキルを学びます。

【レクチャー】杉山至「イメージを形にする」

【ワークショップ】杉山至「中心を探せ」

【実習】箱制作（杉山至）

第3回 | 「アートコンストラクター実習②」

現場で何よりも通用するのは「技術」。最終回は東京インプログレス 2010 の「塔」建設予定地でウッドデッキの制作／撤収の現場実習を行います。

【実習】ウッドデッキ制作／撤収（杉山至／日沼智之／川俣正）

申し込み方法

必要事項をご記入の上、メールまたは FAX にてお申し込みください。

【宛先】MAIL : info-cian@interlocalization.net FAX : 03-5638-8811

*メールまたは FAX への記入事項

件名: 「アートコンストラクター講習会」参加申し込み

1) 参加者氏名(ふりがな) 2) 住所 3) 電話番号 4) メールアドレス / FAX 番号

* 定員に達し次第、締め切らせて頂きます。原則全3回受講。

* 申し込み受付後、メールまたは FAX にて連絡いたします。

講師

小山田徹 (こやまだとる)

美術家、風景収集狂者(活動名: Land Landscape Maniacs)。1961年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学在学中にマルチメディアパフォーマンスユニット「ダムタイプ」を結成し、98年まで舞台美術/監督を担当。平行して90年から、さまざまな共有空間の研究・開発を進め、主な企画に「ウィークエンドカフェ」、「カラス板屋」などがあり、「Bazaar Cafe」の立ち上げにも参加。

杉山至 (すぎやまいたる)

舞台美術家。1966年生まれ。国際基督教大学 (ICU) 教養学部卒。劇団青年団にて舞台美術を担当。舞台美術研究工房・六尺堂ディレクター。2001年度文化庁芸術家在外研修員として1年間イタリア・ナポリの舞台美術工房にて研修を受ける。2006年カイロ国際実験演劇祭参加作品、地点「るつぽ」にてベスト・セノグラフィー賞受賞。桜美林大学非常勤講師。

モデレーター

日沼智之 (ひぬまともゆき)

SUN HAUS主宰。建築士、現場監督。青森市にて2004年より、オルタナティブアーツスペース《空間実験室》を開始。建設業に携わる経験を活かして、空間設計・設営部門「男学校」の運営をしている。また大型のアート作品の設置業務も手がける。

アクセス

南千住区民事務所東部ひろば館 (荒川区南千住3丁目20番6号)

南千住駅 [JR 常磐線/東京メトロ日比谷線/つくばエクスプレス] : 徒歩 12分

都立汐入公園 (荒川区南千住8丁目)

南千住駅 [JR 常磐線/東京メトロ日比谷線/つくばエクスプレス] : 徒歩 20分

*会場についての詳細は、後日参加者にお知らせします。

川俣正・東京インプログレス—隅田川からの眺め

世界的なメトロポリス都市である東京を、ワークショップ、シンポジウム、トーク等を通して再考するとともに、その一連のプロセスを地域および世界へと発信していきます。プロジェクトの実施拠点を隅田川エリアに設置し、木造の塔を構築します。

このプロジェクトは、その空間的、時間的な経験の総体のなかから「東京」の新しい表象・イメージが構築されることを意図し継承的に展開していきます。

**TOKYO
IN
PROGRESS**
東京インプログレス

川俣正 (かわまたただし)

1953年生まれ。28歳の若さでヴェネツィア・ビエンナーレの参加アーティストに選ばれ、その後も欧米を中心に高い評価を獲得し続けている。1999年、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科開設時に教授として着任。2005年には、第2回横浜トリエンナーレ『横浜トリエンナーレ 2005「アートサーカス (日常からの跳躍)」』の総合ディレクターを務める。現在はパリ国立高等芸術学院教授。建築や都市計画、歴史学、社会学、日常のコミュニケーション、あるいは医療にまで及ぶ広い領域に関わった作品制作を行っている。

また、2010年6月より「川俣正・東京インプログレス—隅田川からの眺め」を展開している。

東京アートポイント計画とは

「東京アートポイント計画」は、東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。